

【9L4L103】美術入門		教養科目		1年後期			
		2単位	選択	講義	15時間		
教員	加藤 誉使子						
資格・制限等	歯科は選択必修						
資格等	保資選択・選択必修、音療選択必修（幼教）、音療選択（音楽）、歯科衛生士選択必修						
実務家教員	高等学校美術科教諭28年						
授業方法	power pointによる画像資料やプリントを用いた講義形式を基本として、適宜ワークショップなどのアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を行います。ICTを活用したコメント提出とフィードバックを毎時行います。						
到達目標	知識・理解	通史とテーマによる縦横断的な捉え方で西洋及び日本美術史を学び、歴史的な意味と表現の特徴、作品の意義を理解できる。					
	思考・判断・表現	美術作品の歴史的背景を知り、客観的な判断に基づいた作品理解を踏まえ、自身の観点や意見を思考し表現することができる。					
	技能	美術史を学ぶことを通して美術作品を読み解く力を身に付け、コミュニケーション手段とすることができる。					
	関心・意欲・態度	美術史及び美術作品、ワークなどに対し興味を持って対峙するとともに、鑑賞法を積極的に活用することができる。					
	備考	・○・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
授業内容	西洋美術及び日本美術史について、各回ごとのテーマを切り口として美術作品理解と歴史的理解をし、美術作品鑑賞法を学ぶとともに、現代社会に生きる私たちとの結びつきを考え、アートを楽しみ豊かに生きる教養を身に付けます。						
観点別評価	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
		筆記試験	20	25	10	-	55
		課題提出	10	10	10	-	30
		受講態度	-	-	-	15	15
	合 計(点)	30	35	20	15	100	
評価の特記事項	課題提出は、各授業後に指定する期日までに提出するリフレクションシートのことです。5回以上欠席した場合、筆記試験の受験資格はありません。						
ICT活用	各授業後のリフレクションシートの提出を、googleフォームを活用して行います。						
アクティブ・ラーニングの活用	ワークショップ（個人、グループ）						
課題に対するフィードバック	google formにより提出された意見を次の授業時に共有するとともに、質問に対して解説します。						
テキスト							
参考書・教材							
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	ガイダンス・イントロダクション（授業の目標や学ぶ内容の概要を理解し、現代社会と美術の関わり、作品の鑑賞方法について学ぶ。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（授業概要、現代社会と美術、作品の鑑賞方法）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
2	ざっくり西洋美術史（西洋美術の通史を概観し、理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（西洋美術通史）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
3	ギリシア神話をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術の主要テーマであるギリシア神話を切り口として横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（西洋美術・ギリシア神話美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
4	ギリシア神話をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術の主要テーマであるギリシア神話を切り口として横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（西洋美術・ギリシア神話美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
5	肖像・人物をテーマ・モチーフにした西洋美術(西洋美術における人物をモチーフとした作品を切り口として横断的に学ぶとともに、その意味及び通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（西洋美術・人物の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
6	風景をテーマ・モチーフにした西洋美術(西洋美術における風景をモチーフとした作品を切り口として横断的に学ぶとともに、その意味及び通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（西洋美術・風景の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
7	静物をテーマ・モチーフにした西洋美術（西洋美術における静物をモチーフとした作品を切り口として横断的に学ぶとともに、その意味及び通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（西洋美術・静物の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
8	ざっくり日本美術史(日本美術の通史を概観し、理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（日本美術通史）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						
9	ほとけ様の世界・日本美術（日本美術の主要テーマである仏教を切り口として横断的に学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（日本美術・仏教の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)						

内容	
実施回	授業内容・目標
10	生活美術の世界～原始から現代～・日本美術（土偶、埴輪など芸術表現に留まらない、生活に密接した造形や意匠について学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（日本美術・生活の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
11	絵巻物と浮世絵の世界・日本美術（日本美術特有の表現形式である絵巻物と浮世絵について学ぶとともに、通史との関連を理解する。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（日本美術・絵巻物浮世絵）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
12	上手いアート・西洋美術日本美術（傑出した「上手さ」を切り口として古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（「上手さ」の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
13	かわいいアート・西洋美術日本美術（傑出した「かわいさ」を切り口として古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（「かわいさ」の美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
14	価値観を変革するアート・西洋美術日本美術（「価値観を変革する」を切り口として古今東西のアート作品を検証し、美に対する思考を深める。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（「価値観を変革する」美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
15	現代美術とこれからのアート～ダイバーシティ社会の中で～（美術史を踏まえた現代美術の理解と、アートの価値と社会の在り方について思考を深める。）、ワークショップ [課題（復習）]google formによる授業（現代美術）の振り返りとコメント提出、展覧会やメディアを活用した美術鑑賞(4h)
時間外での学修	美術作品を、美術館やギャラリーで実見したり、メディアを活用して美術鑑賞の機会を持ち、授業で学んだ内容について実践的発展的な学習を行ってください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：60時間】
受講学生へのメッセージ	アートは感性で見るものと捉えられがちですが、決してそれだけではなく、鑑賞法や知識を学ぶことで自ら読み解くことができるようになり理解が深まります。アートを楽しみながら学ぶ中で、ダイバーシティ社会に生きる人としての教養を身につけ、豊かさとは何かを考える一助となることを期待します。 オフィスアワー【水曜日10:30～10:50（講義室または非常勤講師控室）】